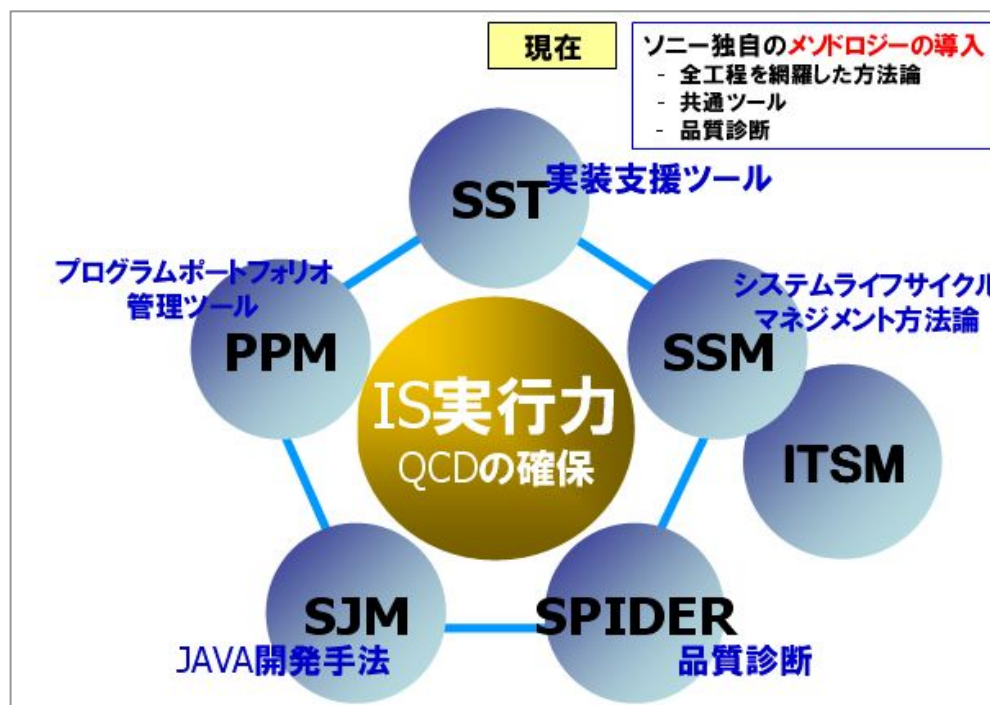


ソニーグローバルソリューションズ(株)における プロセス診断活動(SPIDER)の課題と取り組み

ソニーグローバルソリューションズ(株)
プロジェクト推進部門

渡辺 哲平

- ソニーグローバルソリューションズ(株)は、物流・生産・在庫管理からマーケティング情報管理まで、主にソニーグループ内の**さまざまな分野の情報システムの企画、構築、運用**を行っています
- これらのシステム開発や運用において、独自のメソドロジーを開発・導入することにより**実行力を強化**する活動を2005年より進めています



実行力強化のための取り組み

- 実行力強化を議論するWGにより、品質強化のための組織的なプロセス改善活動の必要性が喚起されました
- この目的のための活動が「SPIDER (Software Process Improvement by Diagnosis, Education and Reuse)」です

ソニーISグループ全体会議

1. 品質マネジメントの考え方 基本方針

- 組織としての品質保証体制の確立
- プロセス監査による品質保証
- プロセスの利用の推進
- プロセスの継続的改訂

The diagram illustrates the relationship between project quality management and organizational quality management. At the top, '品質管理対象プロジェクトの目標' (Goals of Quality Management Target Projects) leads to 'プロジェクト (品質対象)' (Project (Quality Target)). Below this, '品質管理対象プロジェクト' (Quality Management Target Project) and '品質保証体制' (Quality Assurance System) are shown. The central focus is 'SOA' (Software-Oriented Architecture), which is supported by 'SOA 実装' (SOA Implementation) and 'SOA 検証' (SOA Verification). 'SOA' is also linked to 'SEPG' (Software Engineering Process Group) and '標準プロセス' (Standard Process). The diagram shows a flow from project goals through project quality management and quality assurance to the implementation and verification of SOA, which is supported by standard processes and the SEPG.

3

デリバリー・品質保証WG資料 より

SPIDER

SPIDERとは?

- Software Process Improvement by Diagnosis, Education and Reuse -

- ソニーグローバルソリューションズのISプロジェクトの設計構想・実行フェーズのマネジメントプロセスの“プロセス改善活動”です。あらかじめ定めた指標に基づいてプロセスの診断を実施し、プロジェクトおよび組織の弱み・強みを明らかにすることで、プロジェクトおよび組織のプロセス改善を支援します。

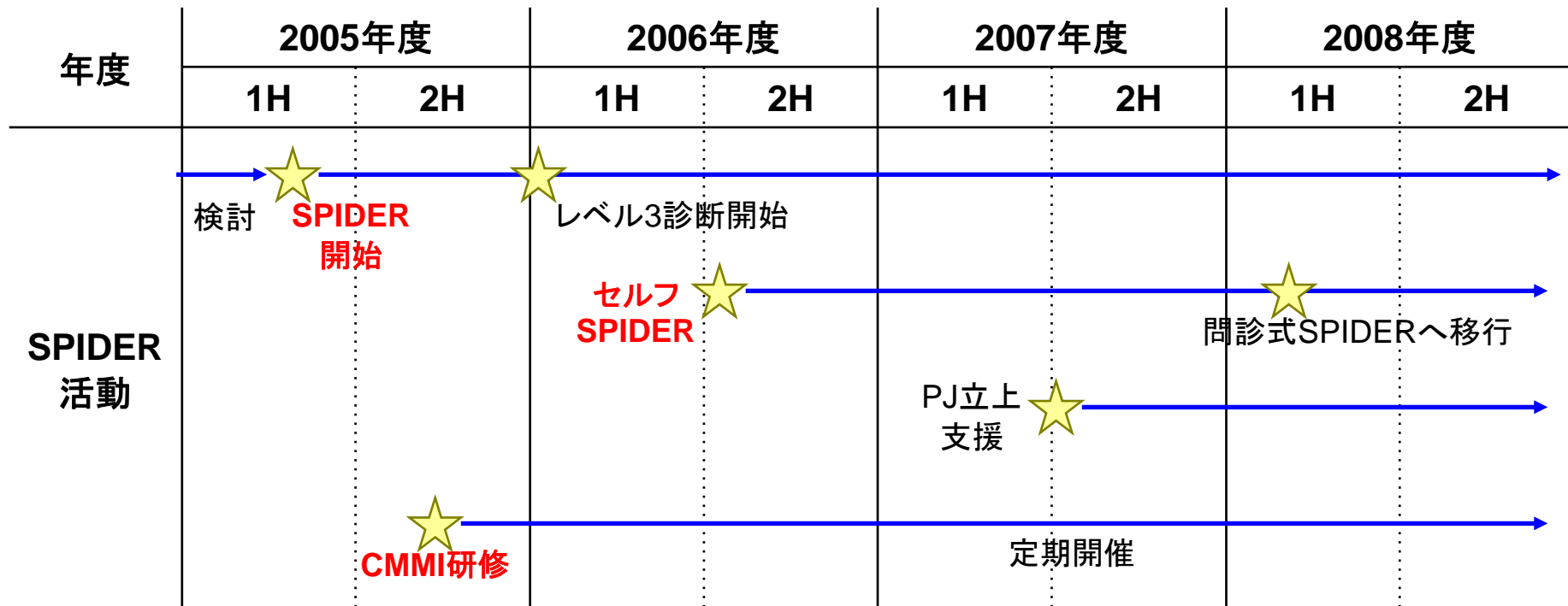
Sony Global Solutions Confidential

2

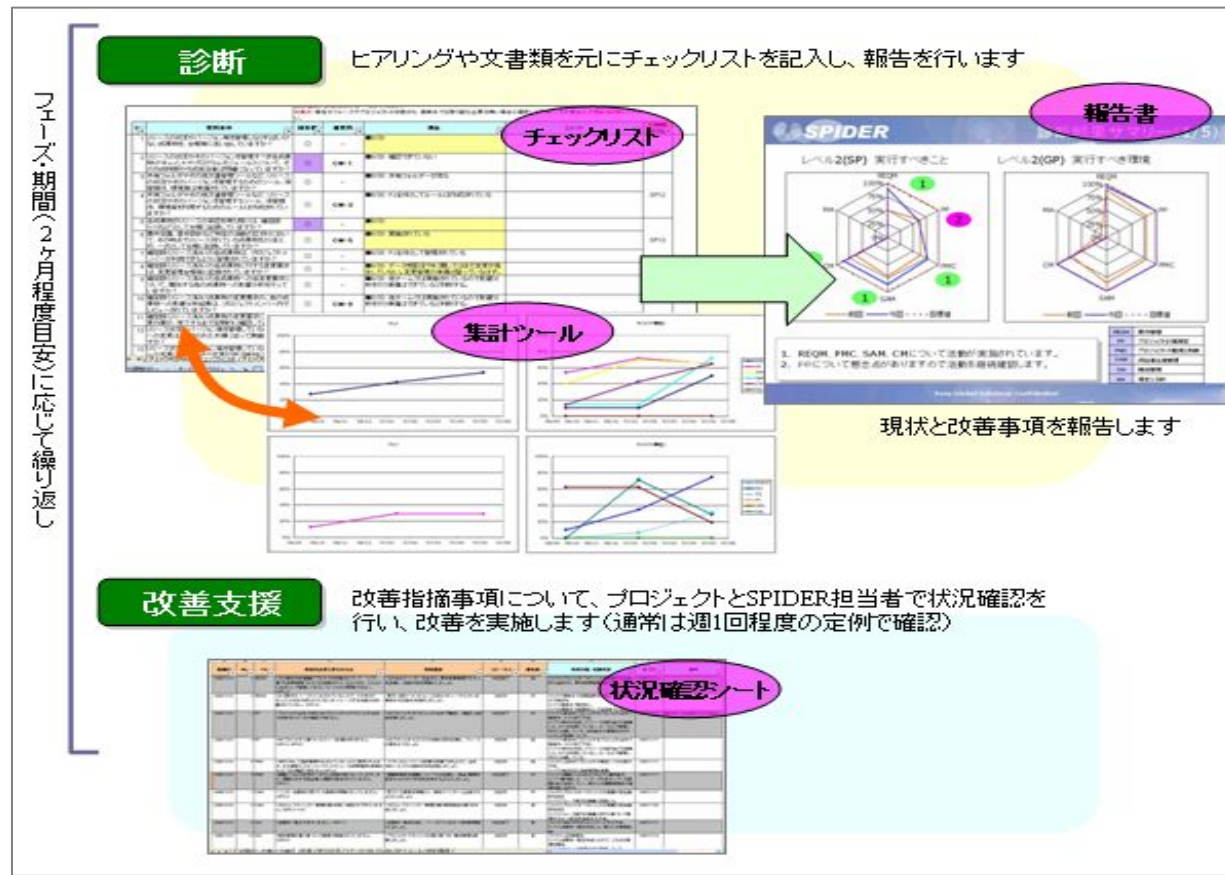
SPIDER説明資料 より

SPIDERの歴史

- ソニーグローバルソリューションズ(株) プロジェクト推進部門 プロセス推進課 が2005年4月に発足し、現在までSPIDER活動を推進しています



- プロジェクトに対しCMMIに基づくプロセスチェック(プロセス診断)を行い、改善ポイントを洗い出し、改善支援を行う一連のプロセスを定義しています
- SPIDER活動を行うためのツールとして、チェックリスト、報告書および改善状況確認シートが用意されています。



課題

対策

■ SPIDER実施プロジェクト数の拡大

■ セルフSPIDERの実施
(2006年10月～)

■ プロジェクトに対するコミ

SPIDER定着化への取り組み

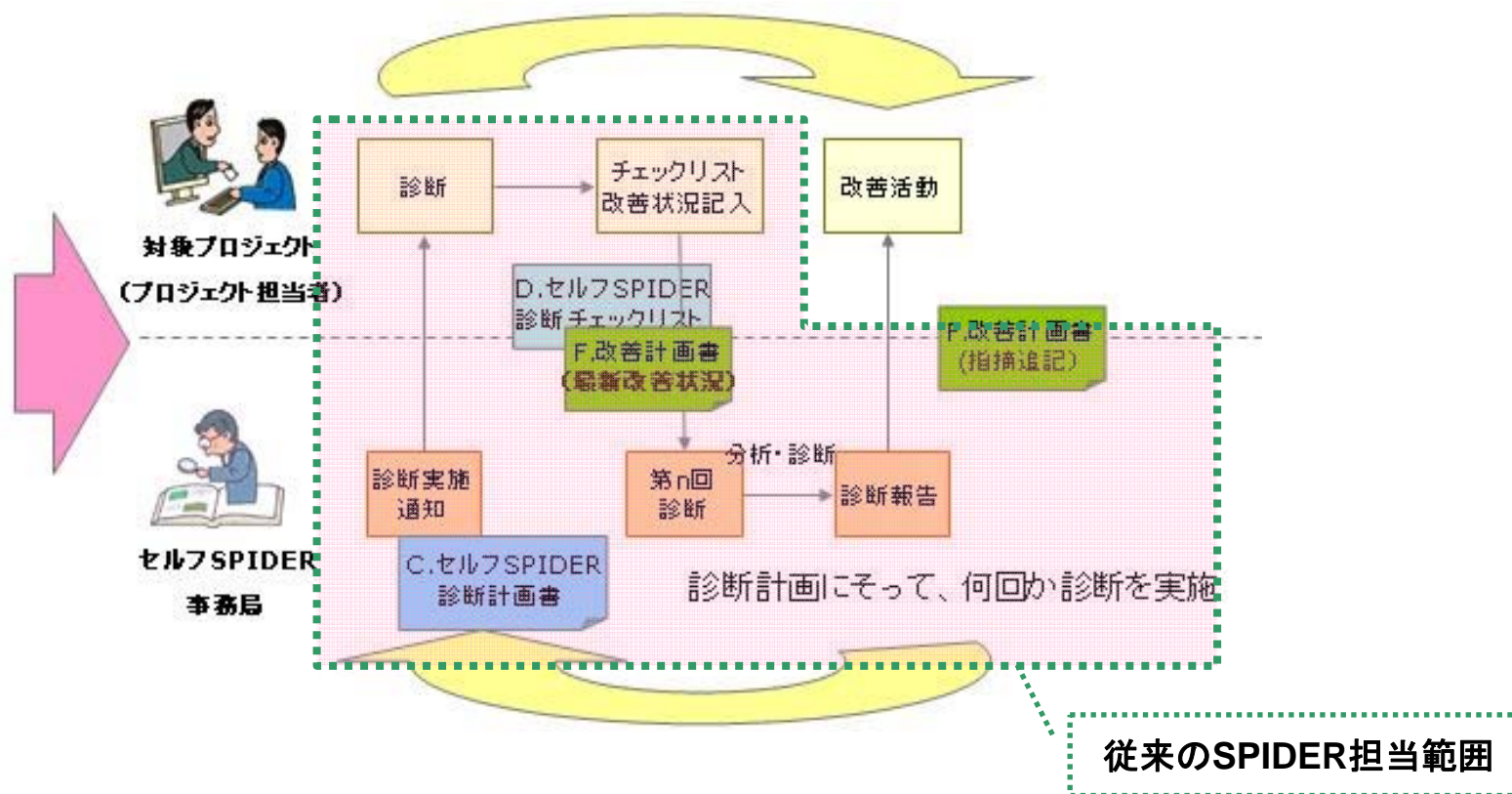
レビュー
(レビュー)へ
組み込み

■ SPIDERの効率性向上および担当者間の評価のバラツキの低減

研修の定期開催
(2005年11月～)

■ SPIDERツール改善
(随時)

- SPIDER担当者の負荷を軽減し、より多くのPJでSPIDERを実施できる仕組みとして「**セルフSPIDER**」を2006年10月より実施
- 通常SPIDER＝大規模案件、セルフSPIDER＝小規模案件 という切り分けで2通りのSPIDERを並行運用



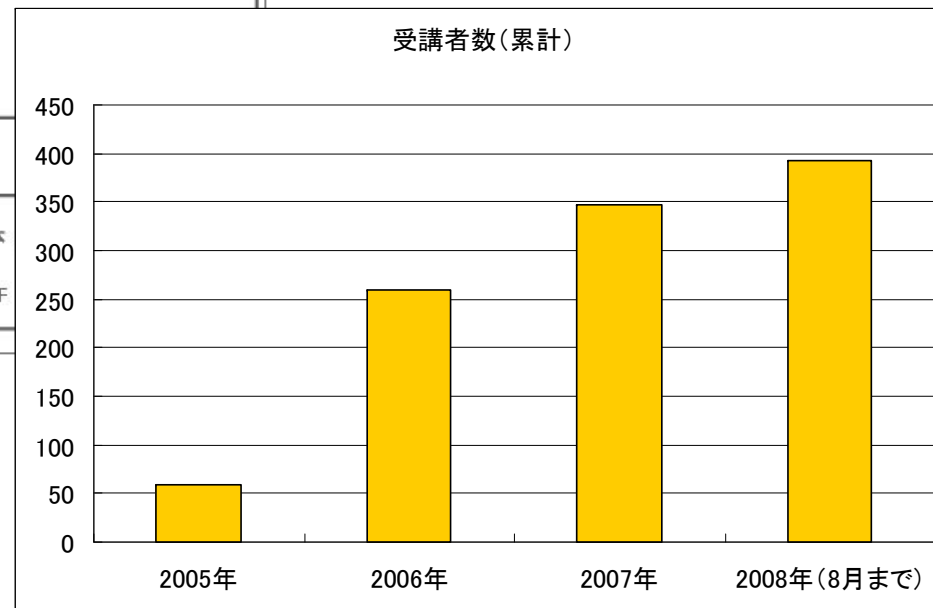
- プロジェクトのSPIDERに対するコミット強化として、2007年4月より**PJ投資審議会**にSPIDER実施の有無を報告するよう義務化
- 啓蒙活動として、2005年11月より**CMMI研修**の定期開催

■ SPIDERの実施

<p>SPIDERの実施について SPIDERとは? http://www.sony.com/sites/spider/ 実施を希望しない場合でも、状況によって実施を提案する場合があります。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 実施する</p> <p>PJの状況をヒアリング後、「担当制SPIDER」と「セルフSPIDER」の「区分」を決定します。従来の投資額による「区分」は廃止しました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 実施を希望しない 理由:</p>
<p>実施する場合のコンタクト先</p>		
<p>コンタクト先</p>	<p>所属部署名 【××部門】 【○○部】 【△△課】</p>	<p>【担当マネジメント：日本 ※統括課長・PLレベル以上】 【メールアドレス： 【場所：品川オフィス OF ※(例)御鞍山ガーデン17階】</p>

SPIDER実施の有無の確認を義務化

CMMI研修受講者推移



SPIDERで用いられるツールは、随時強化されています

▶ SPIDER診断評価のバラツキ低減を目的とした強化

■ チェックリスト(エクセル形式)

- CMMIのプラクティス表現をソニーグローバルソリューションズにあわせて噛み砕いた内容に変更。
通常SPIDER、セルフSPIDERで共通化。

▶ SPIDER担当者の負荷軽減を目的とした強化

■ マージツール(エクセル形式)

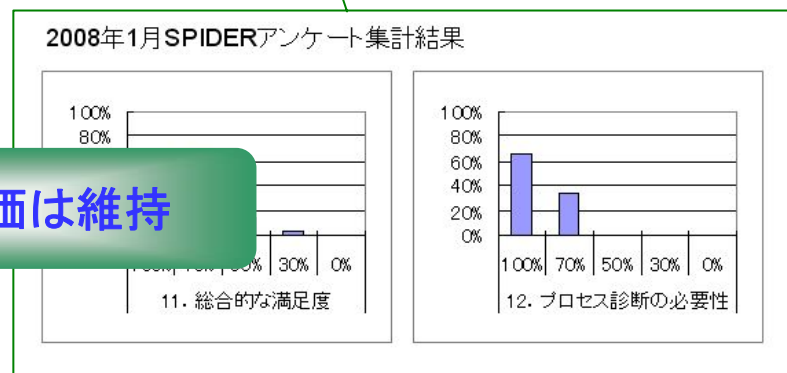
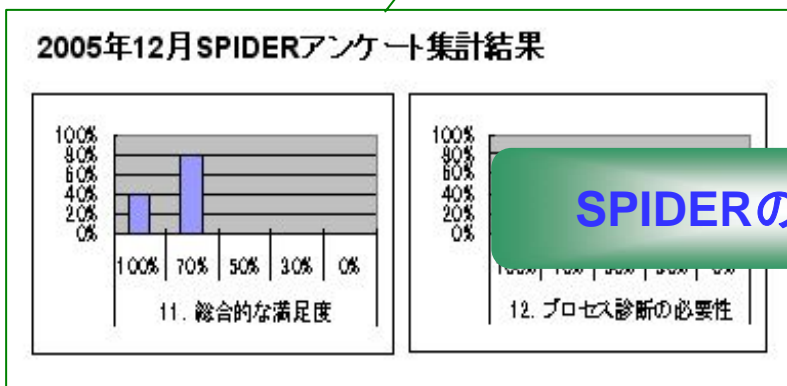
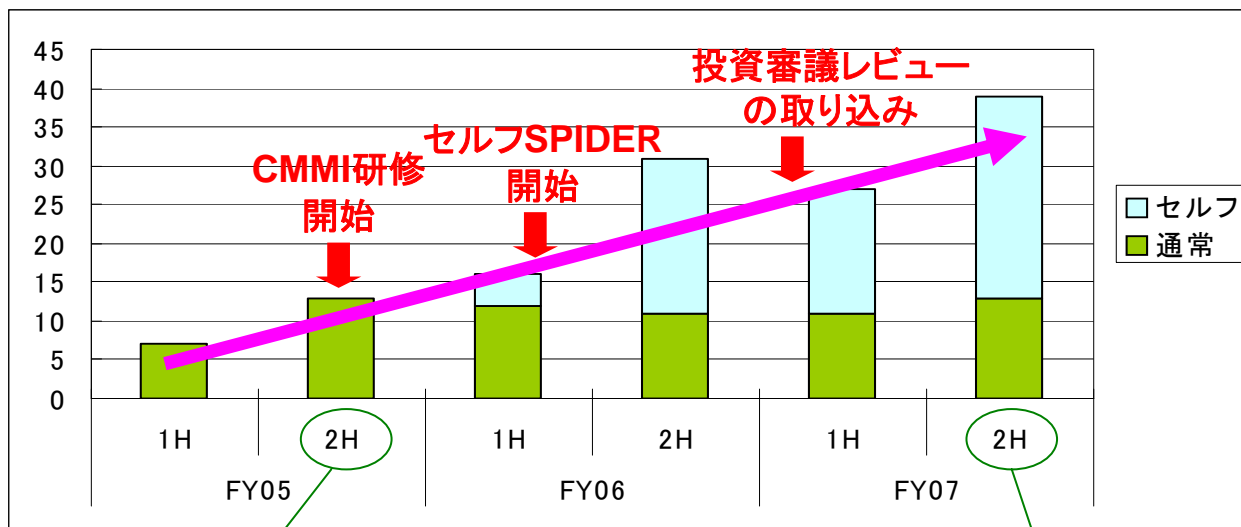
- 複数回診断結果を時系列に表現するツールの開発。

▶ PJとの情報共有改善を目的とした強化

■ 改善計画/進捗確認表(エクセル→Web)

- 改善状況確認をエクセル形式からWeb形式に移行し、ナレッジ化を促進。

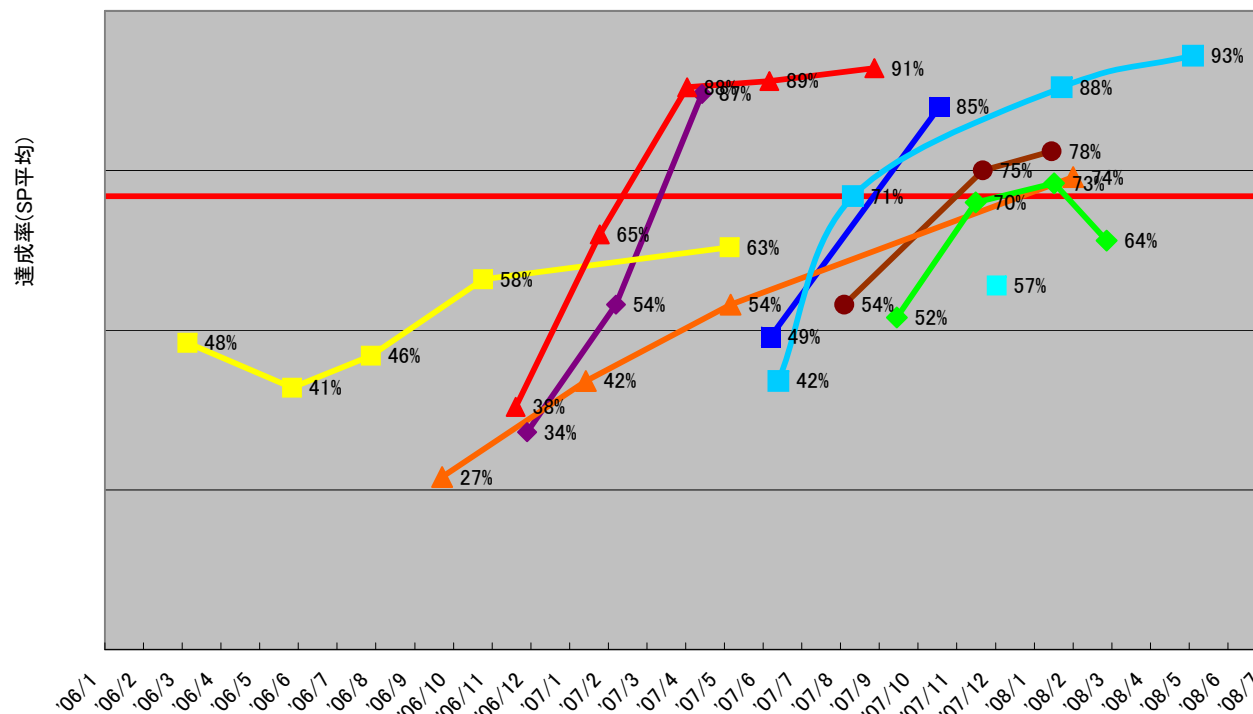
- SPIDERの対象PJ数は増加
- アンケート評価から、必要性および満足度も一定の評価を維持



SPIDERの評価は維持

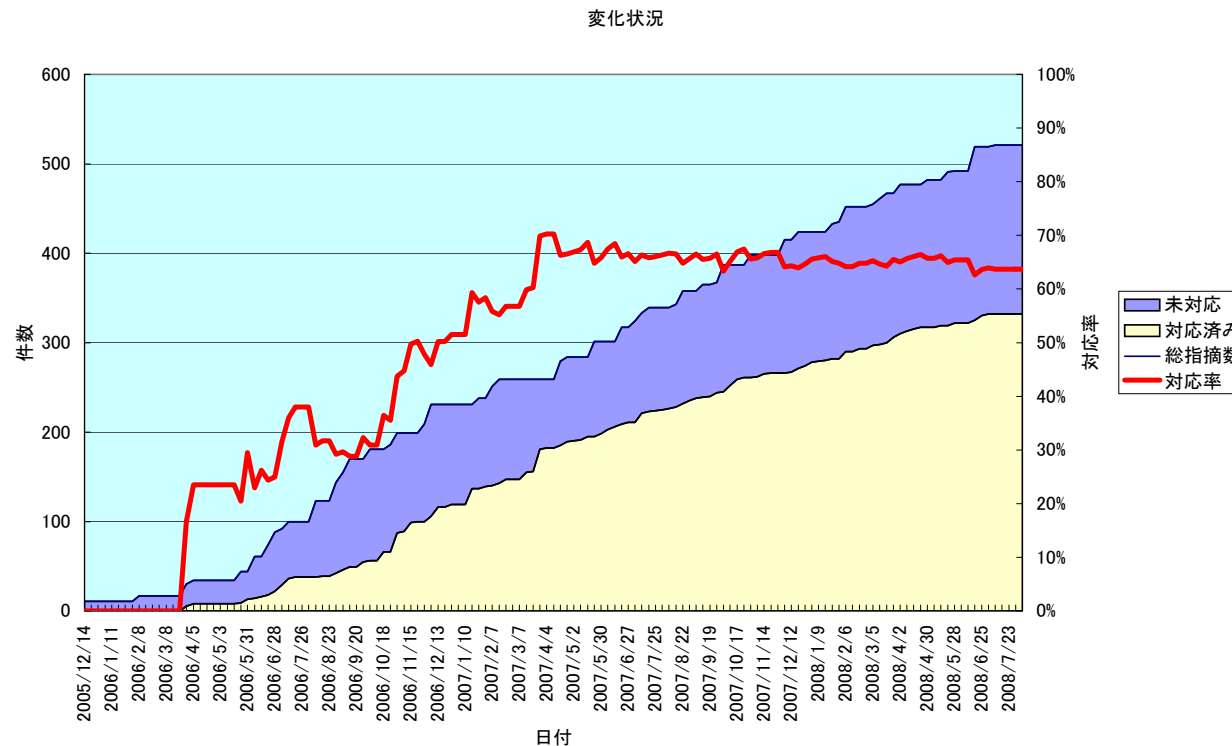
CMMI達成率

- 通常は診断回数を重ねると達成率は右肩上がりとなり、完了の際にほぼ100%に近くなる
- 上手くいかないPJ
 - ✓ 診断自体が出来ない →スコア算出不可能
 - ✓ PJ完了時に開始当初と診断対象範囲(スコープ)が変わってしまう →右肩下がり



指摘件数に対する対応率

- 開始当初から増加しているが、1年半程度経過すると横ばい(60~70%)に留まっている
- ✓ クリティカルなもの = 対応する
- ✓ クリティカルでないもの = 放置される(余裕があれば対応する)



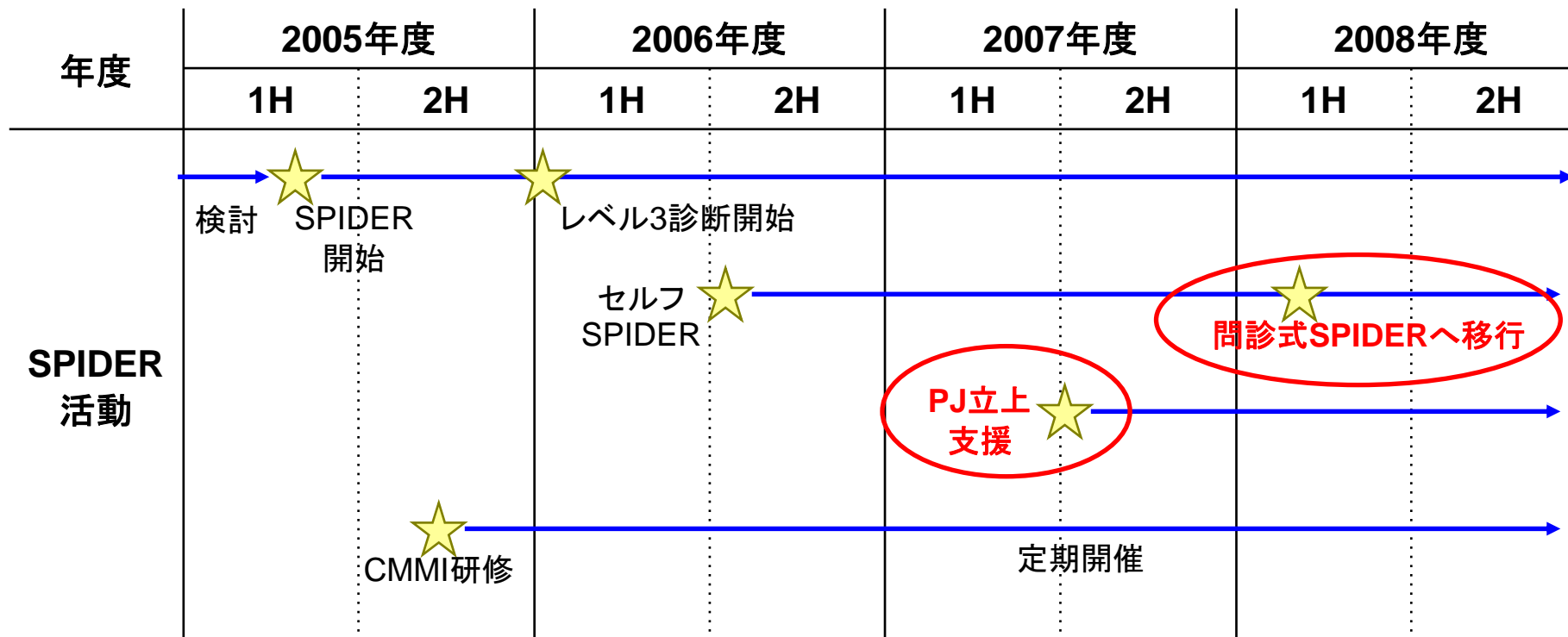
● SPIDERは定着化してきた。しかし・・・

実際にPJは成功しているか？
CMMILレベル3に到達するのか？

SPIDER見直し



SPIDERの歴史(再び)



 SPIDER定着化

- PJ規模にあわせ、複数方式のSPIDERを運用(セルフSPIDER開発)
- PJコミット強化のため、投資審議会へ取り込みを行った
- CMMI研修を継続的に開催し、啓蒙
- SPIDERツール類の強化



PJの傾向が見えてきた



 本質的な底上げのため

- PJ立上げ時の集中講座を実施
- セルフSPIDERの強化

● ソニーグローバルソリューションズ(株)

<http://www.sonygs.co.jp/>

● SPIDERコンタクト

SGS-SPIDER@jp.sony.com